

令和7年度入学生対象

別記様式1

副専攻プログラム説明書

開設学部（学科）名〔工学部〕

プログラムの名称（和文）	エネルギー変換副専攻プログラム
（英文）	Program of Energy Transform Engineering
1. 概要 エネルギー変換プログラムでは設計製図やフェニックス工房での実習を通じてエンジニアとしての技術と視点を身につけると同時に、熱力学、量子科学系の基礎物理学および流体力学、燃焼工学、伝熱工学といった工学に欠かせない学問の教育を行っている。 これらの教育を通じて最先端の設計分野を担える技術者やグローバルな視点からエネルギー・環境問題の解決に貢献できる研究者の要請を目指している。深い専門知識を有しながらも関連分野にまで視野を広げられるように、基礎的な知識・手法を習得するための科目群を提供する。	
2. 到達目標 このプログラムでは、次の3つを到達目標として掲げる。 ・エネルギー変換分野の概要の理解 ・エネルギー変換分野に共通の基礎的な知識および手法の習得 ・エネルギー変換分野における諸技術の基礎となる概念、知識および手法の習得	
3. 登録時期 このプログラムは2年次以降に選択することができる。プログラム登録は履修開始前の登録（事前登録）のみとする。	
4. 登録要件 このプログラムを選択するためには、教養教育科目における下記の基盤科目を修得していなければならない。微分積分学Ⅰ（あるいは数学演習Ⅰ）、微分積分学Ⅱ（あるいは数学演習Ⅱ）、線形代数学Ⅰ、線形代数学Ⅱ、一般力学Ⅰ、一般力学Ⅱ、一般化学 （履修上の注意点） ・数学等に関する基礎的な知識が必要である。 ・各授業科目で単位を取得するために必要な出席および宿題・課題提出等に関しては、エネルギー変換主専攻プログラムと同じ基準が適用される。原則として毎回の出席とすべての宿題・課題提出が必要である。	
5. 受入上限数 本プログラムでは4名とする。受入上限数を超えた場合には、項目4に記載されている登録要件科目の成績により判断する。	

6. 授業科目及び授業内容

※授業科目は、別紙の履修表を参照すること。

※授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。

7. 修了要件

別添の履修表に従い、20単位以上を取得すること。

8. 責任体制

工学部第一類教員会および類が開設の主専攻プログラム（エネルギー変換プログラム）担当教員会が担当する。

9. プログラムの既修得単位等の認定単位数等

（1）他大学等における既修得単位等の認定単位数等

既修得単位等の認定は行わない。

（2）広島大学における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)の認定単位数等

既修得単位等の認定は行わない。

【副専攻プログラム履修に関する注意事項】

○主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した副専攻プログラムの授業科目履修が制限されることがある。

○副専攻プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

科目区分	授業科目	単位数	履修指定	毎週授業時数																備考
				第1年次				第2年次				第3年次				第4年次				
				前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
				1T	2T	3T	4T	1T	2T	3T	4T	1T	2T	3T	4T	1T	2T	3T	4T	
専門教育科目	流体力学Ⅰ	2	必修						4											
	熱力学Ⅰ	2	必修					4												
	燃焼工学	2	必修									4								
	光計測	2	必修											4						
	プラズマ工学	2	必修									4								
	原子力工学	2	必修												4					
	伝熱学Ⅰ	2	選択必修							4										
	流体力学Ⅱ	2	選択必修								4									
	内燃機関	2	選択必修											4						
	初級電磁気学	2	選択必修							4										
	量子物理	2	選択必修								4									
	化学物理	2	選択必修										4							
	圧縮性流体力学	2	選択必修									4								
	計測信号処理	2	選択必修												4					